

## ■トピックス

# 風力発電施設と自然環境保全に関する研究会

## —環境省と経済産業省の合同研究会—

日本風力発電協会 理事 技術部会長 **鹿野 敏**  
鹿島建設株式会社

### 1. 背景

新エネルギーの導入促進策や環境問題等への積極的な取り組みもあり、我が国の風力発電は2005年度末において107.8万kW、1,050基の風力発電設備が稼働している。

風力発電は、風況の良好な場所が立地点として選定されるが、このような場所は渡り鳥の飛行ルート・希少野生生物の生息・生育が指摘されることも多く、また、自然公園など優れた景観を有する場所も多いことから、事業者と地域住民や環境団体等との間で軋轢が生じる場合もある。

風力発電は、石油代替エネルギーとして優れた純国産エネルギーであり、その立地促進はエネルギー問題の解決だけでなく、地球温暖化防止対策等環境対策としても重要な課題であるが、その推進にあたっては、野生生物保護や景観保全との両立を図る必要がある。

### 2. 検討事項

これまで風力発電の必要性和自然環境の保全に関する課題・問題点等が一体として議論・把握されていなかったことから、風力発電施設と自然環境保全に関して様々な立場の方々から意見を伺い、それぞれの認識を確認し、今後必要となる対策等を洗い出すこととする。

### 3. 研究会メンバー

＜委員＞

大野 正人 (財)日本自然保護協会  
保護・研究部主任  
大村 昭一 日本風力開発(株)  
執行役員開発本部長  
岡安 直比 (財)世界自然保護基金ジャパン  
自然保護室長  
鹿野 敏 鹿島建設(株)環境本部  
新エネルギーグループグループ長  
古南 幸弘 (財)日本野鳥の会自然保護室長  
下村 彰男 東京大学大学院教授  
長井 浩 日本大学准教授  
中村 哲雄 葛巻町長

祓川 清 (株)ユーラスエナジージャパン  
代表取締役社長  
原科 幸彦 東京工業大学教授  
松田 裕之 横浜国立大学大学院教授  
由井 正敏 岩手県立大学教授  
＜事務局＞  
上田 隆之 資源エネルギー庁  
エネルギー・新エネルギー部長  
安藤 晴彦 資源エネルギー庁  
新エネルギー対策課長  
市川 類 資源エネルギー庁  
エネルギー等電気利用推進室長  
黒田 大三郎 環境省大臣官房審議官  
星野 一昭 環境省自然環境局野生生物課長  
神田 修二 環境省自然環境局国立公園課長  
＜オブザーバー＞  
環境省総合環境政策局環境影響評価課  
環境省地球環境局地球温暖化対策課

### 4. 研究会

- ・第1回研究会 3月30日  
バードストライクを中心に意見交換
- ・第2回研究会 5月10日  
生態系・景観を中心に意見交換
- ・第3回研究会 5月29日  
風力発電施設と自然環境保全の両立に向けた課題等意見交換
- ・第4回研究会 6月12日  
風力発電施設と自然環境保全に関する論点整理

### 5. 発表内容

風力発電事業者懇話会と連名で発表  
第1回では「風力発電施設と自然環境保全に関する提言」を祓川社長が発表  
第2回では「風力発電施設の自然公園内への設置の要望」を鹿野理事が発表  
その内容を次ページ以降で紹介いたします。

[http://www.env.go.jp/nature/yasei/sg\\_windplant/](http://www.env.go.jp/nature/yasei/sg_windplant/) には、全資料が掲載されています。